

岩手地域アンケート結果(速報)

- 調査目的** 人口減少と高齢化が進む岩手地域において、地域コミュニティの維持の課題解決に向けて、地区計画などを想定した持続可能なまちづくりの取り組みを地域とともに進めていくための基礎資料として実施。
- 調査方法** 自治会を通じた配布と回収
令和4年7月配布(7月広報配付日) 8月22日回収
- 回収状況** 配布数 694 回収数、有効回収数 479 回収率、有効回収率 69.0%
(令和4年8月31日現在)

結果概要

1 回答者属性

・岩手地域の回答者は「60～80歳代」の「無職」、「男性」が中心であり、世帯としては親子の「2世帯同居」と「夫婦のみ」の世帯で約64%を占めている。住まいは「持ち家」が98.1%となる。

2 定住意向

・定住意向は、76.4%が「住み続けたい」としており、地域からの「転居・転出」は8.1%となった。住み続けたい理由は地域への「愛着」「自然が豊か」「生まれた所」「家を継ぐ」が主な理由となる。一方、転居・転出理由は「買い物が不便」「地域での付き合いがわずらわしい」があげられた。

・同居家族の定住意向は、「住み続けたい」約50%、「転居・転出」が8%、非同居家族では、「地域内に戻りたい」「戻りたくない」ほぼ同数の16～17%となった。

3 現在の住まいの状況など

・生活上の問題点では、「高齢者単独世帯増加」を筆頭に、「買い物」「小学校」「地域の活気」「移動」の面で問題を感じている。

・新たな用地確保による「住宅地・工場・店舗」の整備については70.4%が「よいと思う」としている。「望ましくない」とするのは11.7%であった。

・現在の住宅以外の土地所有では、「宅地」所有が13.6%、「農地」所有が65.8%、両者が11.3%であった。今後の意向では、「宅地」を「手放したい」49.2%、「手放したくない」41.5%、「農地」では「手放したい」60.0%、「手放したくない」34.9%となった。

・地域内に転入する場合の条件としては、「地域活動・行事に参加」47.6%が最も多く、次いで「地域に魅力を感じる人」「特に条件はない」が30%以上で続いている。

4 現在及び今後のまちづくりに向けて

・今後のまちづくりに向けて、住み続けたいまちのために重視することでは、「安心安全」「身近で買い物できる店」「公共交通の確保」の3つが他の項目に約20ポイント差をつけてあげられた。

・地域の魅力・誇り・愛着のために大事にしたいことでは、「歴史・文化」41.8%を筆頭に、「山や川などの自然」「祭り・行事」「小学校」「人・人材」「農地・山の風景」があげられた。

・住み続けたいまちにしていくための活動については、「ぜひ参加したい」意向は5.4%で、「時間と機会」「興味・関心のある事」であればという条件付き参加意向が68.9%となった。

・最後に、アンケート回答にあたって、家族と相談し「意見が反映できた」方は55.9%であった。

1 回答者属性

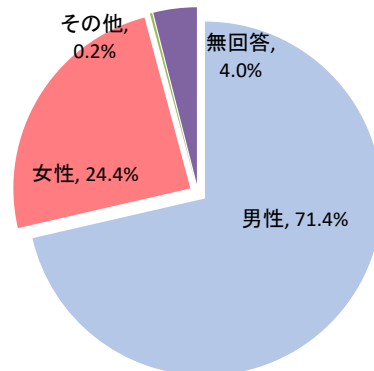
○回答者男女

回答者は 71.4%が男性、女性は 24.4%で、7 割以上が男性となった。

問 1-1-1 性別

	実数	構成比
男性	342	71.4%
女性	117	24.4%
その他	1	0.2%
無回答	19	4.0%
計	479	100.0%

問1-1-1 性別 N=479



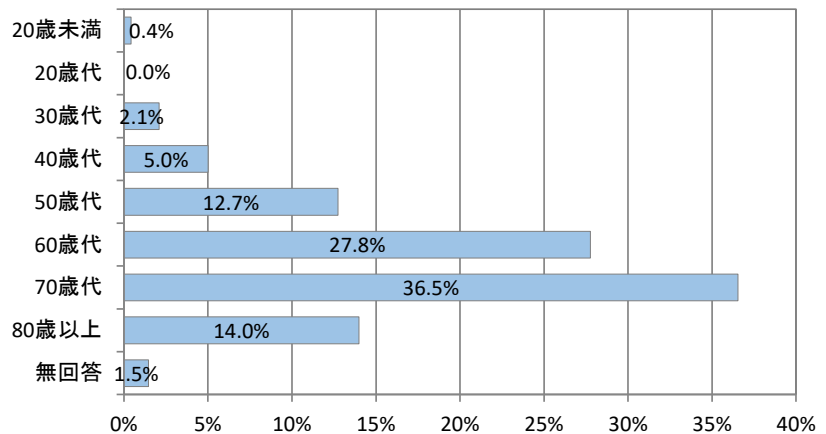
○年代

年代別では 70 歳代が 36.5%で最も多く、次いで 60 歳代、80 歳以上となった。
60～80 歳代以上で 78.3%、50 歳代を含めると 91.0%とほとんどを占める。

問 1-1-2 年代

	実数	構成比
20歳未満	2	0.4%
20歳代	0	0.0%
30歳代	10	2.1%
40歳代	24	5.0%
50歳代	61	12.7%
60歳代	133	27.8%
70歳代	175	36.5%
80歳以上	67	14.0%
無回答	7	1.5%
計	479	100.0%

問1-1-2 年代 N=479



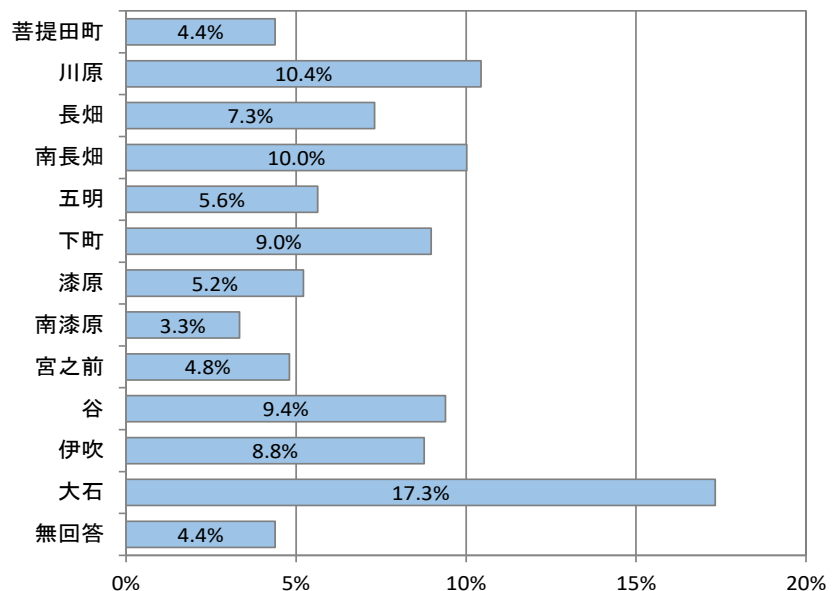
○自治会

自治会で別では、大石、川原、南長畑の順に多くなった。

問 1-2 住まいの自治会

	実数	構成比
菩提田町	21	4.4%
川原	50	10.4%
長畑	35	7.3%
南長畑	48	10.0%
五明	27	5.6%
下町	43	9.0%
漆原	25	5.2%
南漆原	16	3.3%
宮之前	23	4.8%
谷	45	9.4%
伊吹	42	8.8%
大石	83	17.3%
無回答	21	4.4%
計	479	100.0%

問1-2 住まいの自治会 N=479



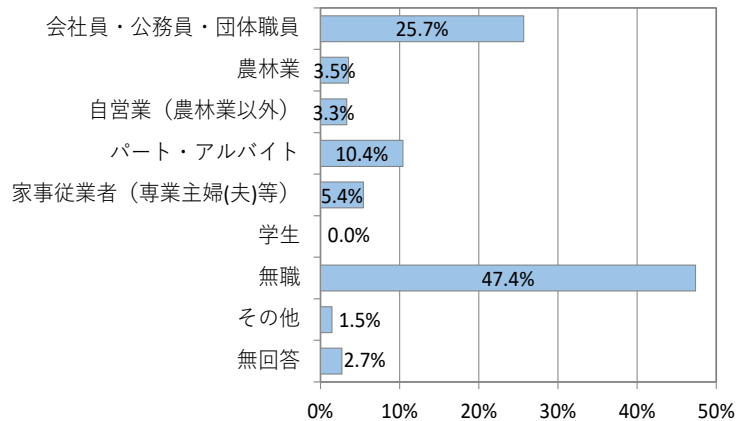
○職業

回答者の職業では、「無職」47.4%、「会社員・公務員・団体職員」25.7%が主なものとなった。回答者の年代が高いためと思われる。

問1-3 職業

	実数	構成比
会社員・公務員・団体職員	123	25.7%
農林業	17	3.5%
自営業（農林業以外）	16	3.3%
パート・アルバイト	50	10.4%
家事従業者（専業主婦(夫)等）	26	5.4%
学生	0	0.0%
無職	227	47.4%
その他	7	1.5%
無回答	13	2.7%
計	479	100.0%

問1-3 職業 N=479



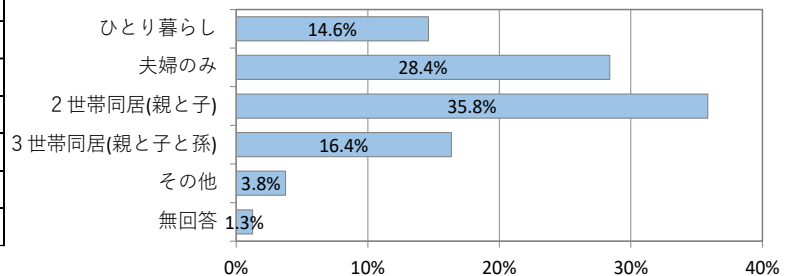
○世帯構成

世帯構成については、「2世帯同居」35.8%、「夫婦のみ」28.4%が主なものとなっている。

問1-4-1 世帯構成

	実数	構成比
ひとり暮らし	70	14.6%
夫婦のみ	136	28.4%
2世帯同居(親と子)	171	35.8%
3世帯同居(親と子と孫)	78	16.4%
その他	18	3.8%
無回答	6	1.3%
計	479	100.0%

問1-4-1 世帯構成 N=479



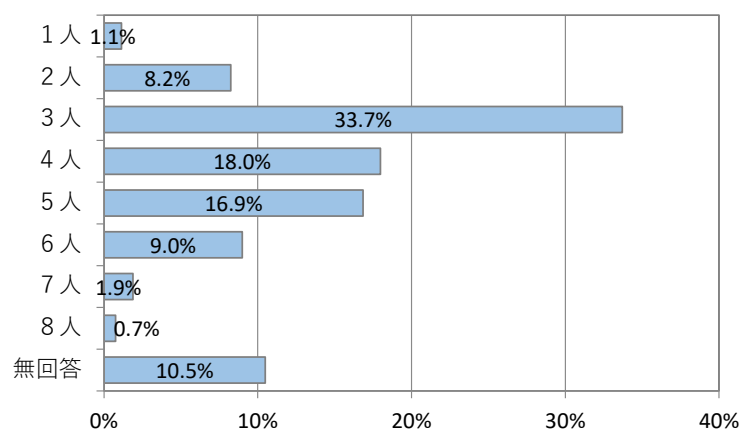
○同居人数

一人暮らし、夫婦のみ以外の多世帯の同居人数としては、3人が最も多く、平均では3.15人となった。

問1-4-2 同居人数

	実数	構成比
1人	3	1.1%
2人	22	8.2%
3人	90	33.7%
4人	48	18.0%
5人	45	16.9%
6人	24	9.0%
7人	5	1.9%
8人	2	0.7%
無回答	28	10.5%
計	267	100.0%

問1-4-2 同居人員 N=267



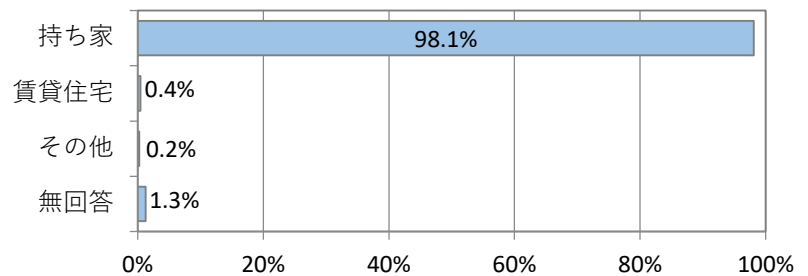
○住まいの所有形態

住まいの所有形態は、「持ち家」が98.1%とほとんどを占めた。

問1-5 住まいの所有形態

	実数	構成比
持ち家	470	98.1%
賃貸住宅	2	0.4%
その他	1	0.2%
無回答	6	1.3%
計	479	100.0%

問1-5 住まいの所有形態 N=479



2 地域への定住意向

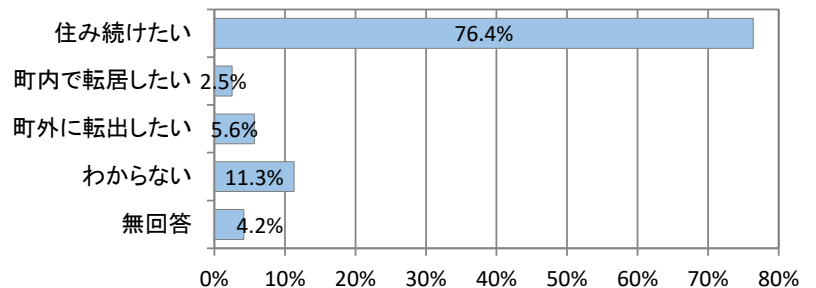
○今後の定住意向

今後の定住意向では、「住み続けたい」76.4%で、「転居したい」「転出したい」あわせて8.1%となった。「転出・転居」の回答数は39となっている。

問2-1 今後の居住意向

	実数	構成比
住み続けたい	366	76.4%
町内で転居したい	12	2.5%
町外に転出したい	27	5.6%
わからない	54	11.3%
無回答	20	4.2%
計	479	100.0%

問2-1 今後の居住意向 N=479



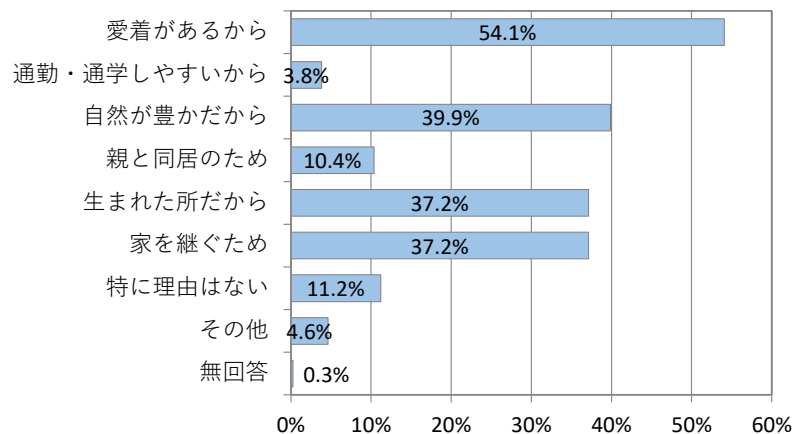
○「住み続けたい」理由

「住み続けたい」理由としては、「愛着がある」54.1%、「自然が豊かだから」39.9%、「生まれた所」、「家を継ぐため」ともに37.2%となった。

問2-2-1 「住み続けたい」理由(複数回答)

	実数	構成比
愛着があるから	198	54.1%
通勤・通学しやすいから	14	3.8%
自然が豊かだから	146	39.9%
親と同居のため	38	10.4%
生まれた所だから	136	37.2%
家を継ぐため	136	37.2%
特に理由はない	41	11.2%
その他	17	4.6%
無回答	1	0.3%
計	366	100.0%

問2-2-1 「住み続けたい」理由(複数回答) N=366



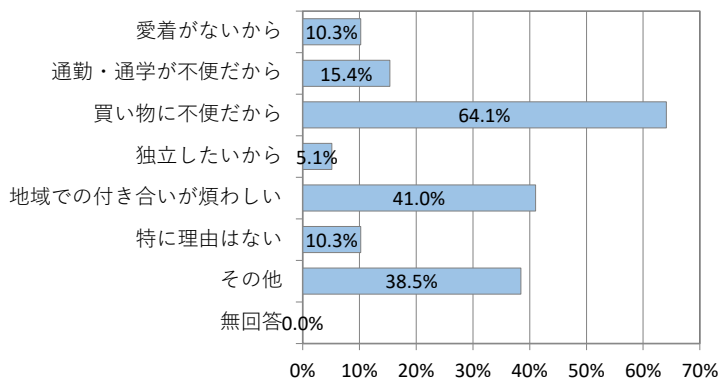
○「転居・転出したい」理由

「転出・転居したい」理由としては、「買い物に不便」64.1%、「地域での付き合いがわずらわしい」41.0%が主なものとなった。

問 2-2-2 「転居・転出したい」理由(複数回答)

	実数	構成比
愛着がないから	4	10.3%
通勤・通学が不便だから	6	15.4%
買い物に不便だから	25	64.1%
独立したいから	2	5.1%
地域での付き合いが煩わしい	16	41.0%
特に理由はない	4	10.3%
その他	15	38.5%
無回答	0	0.0%
計	39	100.0%

問 2-2-2 「転居・転出したい」理由(複数回答) N=39



問 2-2-2 「転居・転出したい」理由 その他

住みたいと思っっている所があるから	通院に不便
車に乗らないとどこにも行けないから	農業をしていないのに農地管理や維持費・税を負担しなければならない
病院が遠いから	子どもの数が少なく刺激がない、子供がかわいそう
交通の便が悪い	助け合いの精神が感じられない
除雪が大変、病院が遠い	雪のないところに住みたいです
家の管理が大変	子どもが近くにいないから
お金がかかる	交通の便が悪いから
免許返納後の生活が不安	

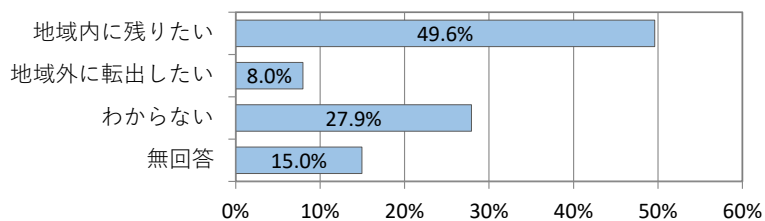
○同居する家族の定住意向

単身世帯を除く同居する家族の定住意向では、「地域に残りたい」49.6%、「転出したい」8.0%となった。

問 3-1 家族の定住意向「同居家族」

	実数	構成比
地域内に残りたい	199	49.6%
地域外に転出したい	32	8.0%
わからない	112	27.9%
無回答	60	15.0%
計	403	100.5%

問 3-1 家族の定住意向「同居家族」 N=403



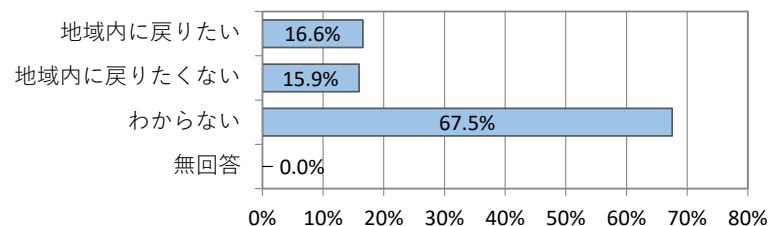
○非同居家族の定住意向

同居していない家族についての定住意向では、「地域内に戻りたい」16.6%、「地域内に戻りたくない」15.9%とほぼ同数であり、67.5%が「わからない」となった。

問 3-2 家族の定住意向「非同居家族」

	実数	構成比
地域内に戻りたい	26	16.6%
地域内に戻りたくない	25	15.9%
わからない	106	67.5%
無回答		0.0%
計	157	100.0%

問 3-2 家族の定住意向「非同居家族」 N=157



3 現在の住まいの状況などについて

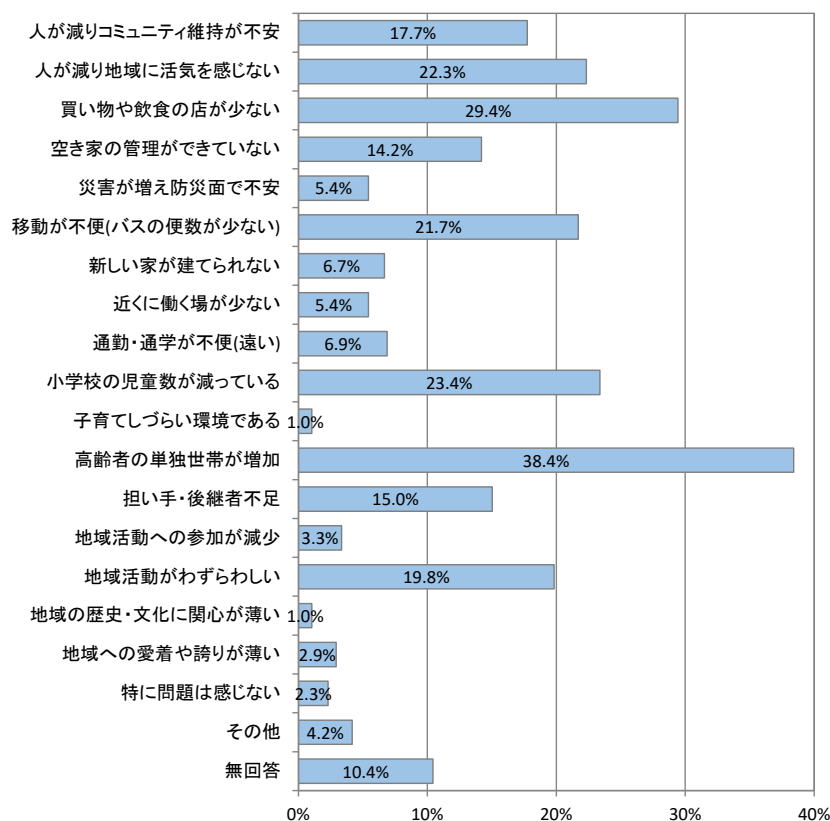
○生活上の問題点

生活する上での問題点については、「高齢者の単独世帯の増加」38.4%が最も多く、次いで「買い物や飲食店がない」29.4%、「小学校の児童数減」23.4%、「地域に活気を感じない」22.3%、「移動が不便」21.7%が主なもので 20%を超えている。これらに次いで、「地域活動がわずらわしい」「コミュニティ維持に不安」などコミュニティ関連の項目が続いている。

問4 生活上の問題点(複数回答)

	実数	構成比
人が減りコミュニティ維持が不安	85	17.7%
人が減り地域に活気を感じない	107	22.3%
買い物や飲食の店が少ない	141	29.4%
空き家の管理ができていない	68	14.2%
災害が増え防災面で不安	26	5.4%
移動が不便(バスの便数が少ない)	104	21.7%
新しい家が建てられない	32	6.7%
近くに働く場が少ない	26	5.4%
通勤・通学が不便(遠い)	33	6.9%
小学校の児童数が減っている	112	23.4%
子育てしづらい環境である	5	1.0%
高齢者の単独世帯が増加	184	38.4%
担い手・後継者不足	72	15.0%
地域活動への参加が減少	16	3.3%
地域活動がわずらわしい	95	19.8%
地域の歴史・文化に関心が薄い	5	1.0%
地域への愛着や誇りが薄い	14	2.9%
特に問題は感じない	11	2.3%
その他	20	4.2%
無回答	50	10.4%
計	479	100.0%

問4 生活する上での問題点(複数回答) N=479



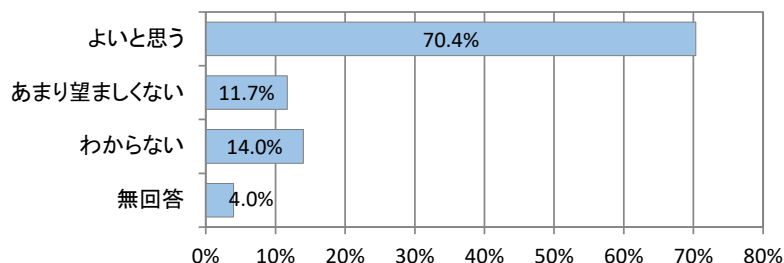
○新たな用地確保により住宅地や工場・店舗をつくること

新たな用地確保による住宅地、工場・店舗をつくることについては、「よいと思う」70.4%となり、「あまり望ましくない」と反対する意見は11.7%であった。

問5 新たな用地確保により住宅・工場・店舗をつくる

	実数	構成比
よいと思う	337	70.4%
あまり望ましくない	56	11.7%
わからない	67	14.0%
無回答	19	4.0%
計	479	100.0%

問5 新たに用地を確保し住宅地や工場・店舗をつくること N=479



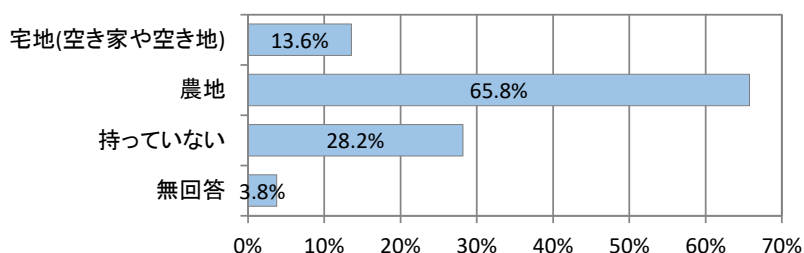
○地域内にお住いの住宅以外に土地(宅地や農地)をお持ちですか

「農地」を持つ方が65.8%、「宅地」を持つ方が13.6%となった。

問6-1 現住宅地以外に土地を持っているか(複数回答)

	実数	構成比
宅地(空き家や空き地)	65	13.6%
農地	315	65.8%
持っていない	135	28.2%
無回答	18	3.8%
計	479	100.0%

問6-1 地域内に現在の住宅地以外に土地を持っているか N=479



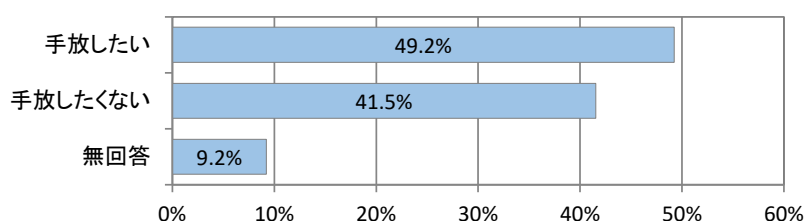
○「宅地」をお持ちの方の意向

「宅地」を持つ方の意向として、「手放したい」49.2%、「手放したくない」41.5%で、手放したいが約半数で、手放したくないを上回った。

問6-2-1 宅地を持っている方の意向

	実数	構成比
手放したい	32	49.2%
手放したくない	27	41.5%
無回答	6	9.2%
計	65	100.0%

問6-2-1 宅地(空き家や空き地)を持っている方の意向 N=65



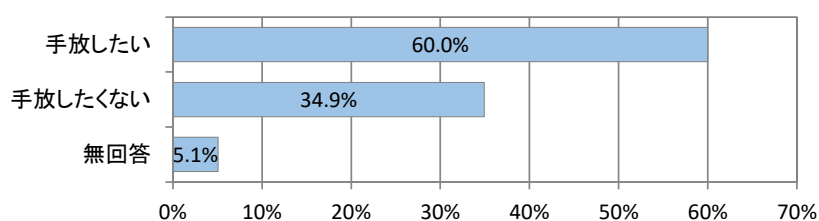
○「農地」をお持ちの方の意向

「農地」を持つ方の意向として、「手放したい」60.0%、「手放したくない」34.9%と、手放したい方が半数(回答数189)を超えている。

問6-2-2 農地を持っている方の意向

	実数	構成比
手放したい	189	60.0%
手放したくない	110	34.9%
無回答	16	5.1%
計	315	100.0%

問6-2-2 農地を持っている方の意向 N=315



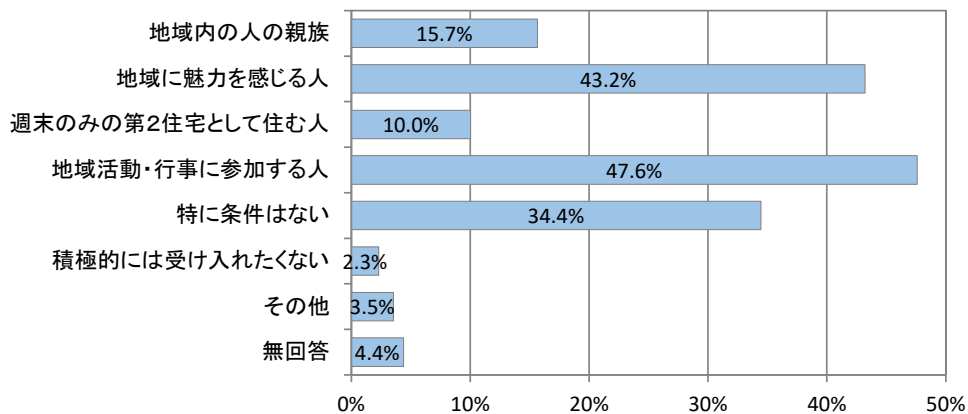
○地域内転入の条件

地域内への転入条件としては、「地域活動・行事に参加」47.6%、「地域に魅力を感じる人」43.2%と約半数を占め、「特に条件はない」が34.4%と3分の1を占めた。

問7 地域内に転入の場合の条件（複数回答）

	実数	構成比
地域内の人の親族	75	15.7%
地域に魅力を感じる人	207	43.2%
週末のみの第2住宅として住む人	48	10.0%
地域活動・行事に参加する人	228	47.6%
特に条件はない	165	34.4%
積極的には受け入れたくない	11	2.3%
その他	17	3.5%
無回答	21	4.4%
計	479	100.0%

問7 地域内に転入したい人は、どんな条件を満たせばよいか（複数回答）N=479



4 現在及び今後のまちづくりに向けて

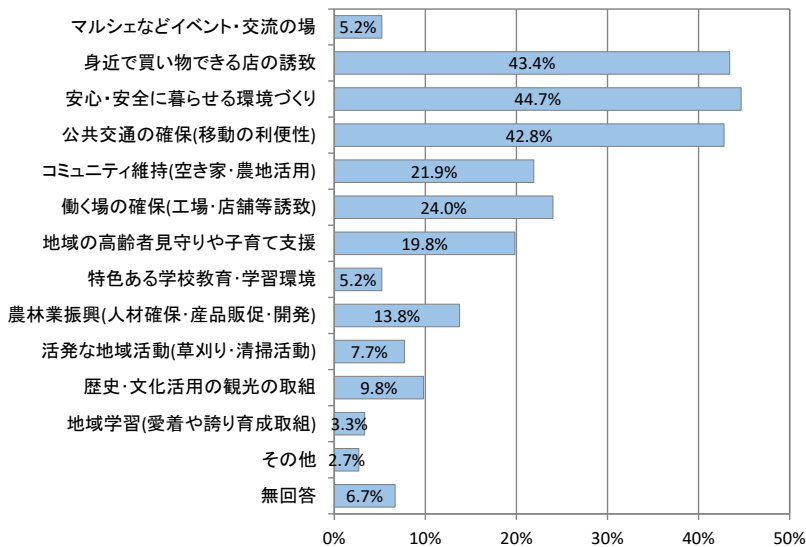
○今後とも地域が住み続けたいまちであるために、重視していくのが望ましいこと

「安心安全に暮らせる環境づくり」44.7%、「身近で買い物できる店の誘致」43.4%、「公共交通の確保(移動の利便性)」42.8%の3つが突出しており、安心安全な生活の確保と利便性が求められている。次いで、「働く場の確保」、「コミュニティ維持」が続いている。

問8 住み続けたいまちのために重視すること(複数回答)

	実数	構成比
マルシェなどイベント・交流の場	25	5.2%
身近で買い物できる店の誘致	208	43.4%
安心・安全に暮らせる環境づくり	214	44.7%
公共交通の確保(移動の利便性)	205	42.8%
コミュニティ維持(空き家・農地活用)	105	21.9%
働く場の確保(工場・店舗等誘致)	115	24.0%
地域の高齢者見守りや子育て支援	95	19.8%
特色ある学校教育・学習環境	25	5.2%
農林業振興(人材確保・産品販促・開発)	66	13.8%
活発な地域活動(草刈り・清掃活動)	37	7.7%
歴史・文化活用の観光の取組	47	9.8%
地域学習(愛着や誇り育成取組)	16	3.3%
その他	13	2.7%
無回答	32	6.7%
計	479	100.0%

問8 住み続けたいまちであるために重視していくこと(複数回答) N=479



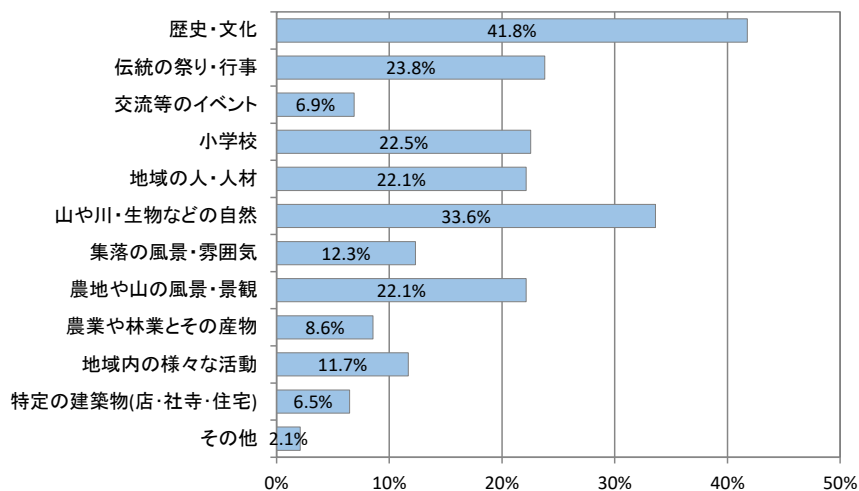
○地域の魅力や誇り、愛着のために特に大事にしたいもの

地域の魅力や誇り・愛着のために大事にしたいことでは、「歴史・文化」41.8%が最も多く、次いで「山や川などの自然」33.6%が次いでいる。次には、「祭り・行事」「小学校」「人材」「農地・山の風景・景観」と地域のコミュニティに関連するものとなっている。

問9 地域の魅力や誇りで大事にしたいもの(複数回答)

	実数	構成比
歴史・文化	200	41.8%
伝統の祭り・行事	114	23.8%
交流等のイベント	33	6.9%
小学校	108	22.5%
地域の人・人材	106	22.1%
山や川・生物などの自然	161	33.6%
集落の風景・雰囲気	59	12.3%
農地や山の風景・景観	106	22.1%
農業や林業とその産物	41	8.6%
地域内の様々な活動	56	11.7%
特定の建築物(店・社寺・住宅)	31	6.5%
その他	10	2.1%
無回答	42	8.8%
計	479	100.0%

問9 地域の魅力や誇り、愛着を伝えるもので大事にしたいもの(複数回答)
N=479



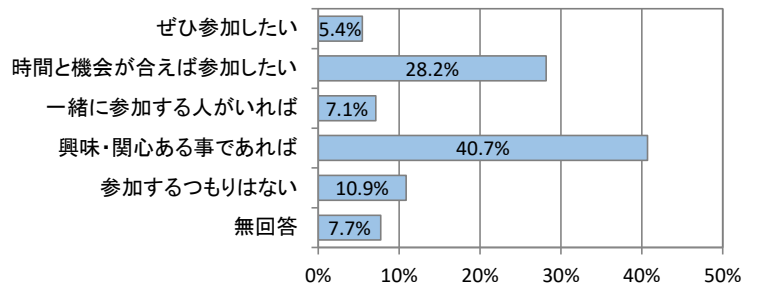
○住み続けたいまちにしていけるための活動

住み続けたいまちの活動では、「ぜひ参加したい」が 5.4%にとどまり、「時間と機会」「一緒に」「興味・関心あること」等の条件付きの参加意向が 76.0%となった。

問10 住み続けたいまちのための活動への参加意向

	実数	構成比
ぜひ参加したい	26	5.4%
時間と機会が合えば参加したい	135	28.2%
一緒に参加する人がいれば	34	7.1%
興味・関心ある事であれば	195	40.7%
参加するつもりはない	52	10.9%
無回答	37	7.7%
計	479	100.0%

問10 住み続けたいまちにしていけるための活動への参加意向
N=479



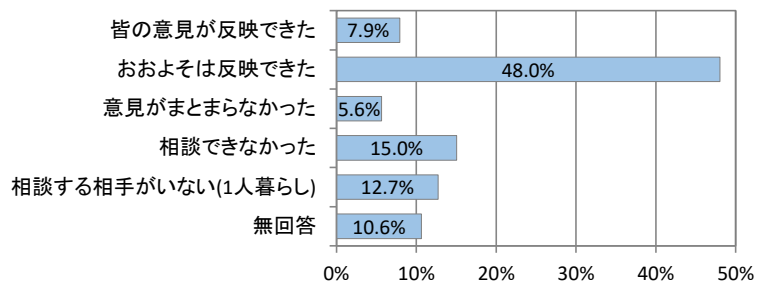
○アンケート回答にあたっての家族との相談した感想

アンケート回答で家族と相談した感想では、「おおよそ反映」が 48.0%とほぼ半分の方が相談できたと回答している。「皆の意見が反映できた」7.9%をあわせると 55.9%と過半の方が反映できたとしている。一方、相談できなかった方は、あわせて 27.7%であった。

問11 アンケート回答に家族と相談した感想

	実数	構成比
皆の意見が反映できた	38	7.9%
おおよそは反映できた	230	48.0%
意見がまとまらなかった	27	5.6%
相談できなかった	72	15.0%
相談する相手がない(1人暮らし)	61	12.7%
無回答	51	10.6%
計	479	100.0%

問11 アンケート回答にあたり家族と相談した感想 N=479



問 12 地域の 10 年後、20 年後のまちについて望むこと、まちづくりにていての提案、自由意見

<p>岩手地区には個人の商店等以前は各地区にあったが今は全くない。農地ばかりで発展性もない、こんな場所には若い人は住みたいと思わないだろう。垂井町でも一番老人人口の多い地区である。市街化区域を広めるべき(農業は後継者もなく魅力がない)。</p>
<p>インフラ整備、自助努力で日常生活がしやすい「まちづくり」を！地域外の人々が魅力を感じ地域居住者として他から流入したいと思われる「まちづくり」を目指したい。</p>
<p>バイパスの交通量に応じた騒音対策をしてほしい(意見が間違っているかも?)。</p>
<p>畑にシートが覆ってある土地が多い。世帯の高齢化によって耕作ができない。有効利用ができないでしょうか。</p>
<p>岩手は市街化調整区域なのでほかからの編入もなく若い人たちが家が建てにくいことからどんどん外に出て行ってしまい人口がどんどん減少してしまっています。何らかの手段を講じて若い人も住みやすい地になって子供たちが増えていく地域になってほしいです。</p>
<p>市街化調整区域をなくす。</p>
<p>まちが主体となって街づくりを推進したはずがまちづくりとは何かを理解しないまま体制づくりをしたため極めて中途半端な現状となっているように感じる。リードする方向と方法を明らかにし、推進体制を整え各地域にゆだねるといった段階に問題はなかったか？まちづくりがなぜ人づくりなのか人づくりは何をすればよいのか 20 年以上前に盛んに議論されたことがいまだに答えられない人がいるという現状ではまちづくりを推進すると言っても将来は見いだせないのではないかと担当者は少なくとも答えられなければならないはず。答えられないのは怠慢であるとの証明ととらえられる。</p>
<p>若者や若者世帯が生活しやすいことや魅力を感じる地域社会にしていくことが大切であろうと思われる。</p>
<p>岩手に限らず垂井の町中、大垣市にあっても空き家が増え、この地域だけの問題ではないように思います。いろいろ思うところはありますが、なかなかまとまらず言葉になりません。まとめてくださる方々、ご苦労様です。</p>
<p>少子化の昨今の状況から小学校の統合もやむを得ず検討してもらいたい。</p>
<p>こんな素晴らしい街はありません。衣食住には困らない街。JR があり国道、高速がありライフラインも整った街です。</p>
<p>今はまだ車で出かけることができるが病院、買い物と困難になるので心配。</p>
<p>地域活性のために、小学校の人数(生徒数)を増多すること。</p>
<p>垂井町内において過疎が進行するところとそうでないところが出てくると想像できます。進行しないところは収入があり、存続可能と思われませんが進行する地域は合併や自治体が外れて町の直管轄になると思われます。そうなってくるとやがては自治体の規模も今の 1/10、1/20となり回らなくなると思います(運営等)どうするかはわかりませんが、仕組み自体を根本的に見直さないと現場の人間が大変になります。もう実際そのような話は出てきています。もう過去のやり方では通用しませんので新しい考え方で仕組みを作ってください。</p>
<p>1、人口の増加があり小田から小児から高齢者まで住みやすい地域になっていること(子供と高齢者が一緒に運動している)2、観光客があふれている街(お土産、食事ができる街)。</p>
<p>岩手地区は市街化調整区域であるため、農地を転用しての工場話はできない。また分家などの住宅建築しかできないため、人口の増加も見込めない。そのため今住んでいる人が住み続けることができるような対策(まちづくり)をしてほしい(巡回バスの充実や移動販売車など)歴史・文化を活用した街づくりは可能性としてあると思うが現実的には難しい。垂井町として、何か農産業の特産品などを開発して市街化調整区域の農地の活用し、農業の活性化を目指すぐらいしか市街化調整区域でできることはないのではないか？</p>

<p>岩手はここ 50 年前と何も変わっていない(10 年後－これからの 50 年後でも同じではないのか？</p>
<p>若い人たち、高齢者(健康な)達が働く場を設けてほしい。</p>
<p>コミュニティバスで体調が良くない時目的地に時間がかかりすぎ利用できない。防犯灯が少ない、暗い。</p>
<p>10 年後くらいになると車での外出等が出来なくなるためこの地区で生活を続けようとする食べ物、着るものなどの入手ができにくくなる。このため私たちの村で生活を続けようとする衣食住のサポートが必要となる。このため行政による衣食住サポートサービスがどうしても必要であると思われる。</p>
<p>農地は休作田が常に 1/3ある、膨大な面積である、その有効活用を考えるべきである。1, 転作の進めるあるいは米価が下がっても米を作らせる2, 農地を住宅、工場用地として転用を考える時に来ているがその議論さえしていない不幸。</p>
<p>少子化がどんどん進んでいけば小学校の存続が危くなる可能性がある府中小学校との統合もあると思う。岩手地区の存続を考えるのであれば農業だけでなくほかの産業の誘致などを考える必要がある。このままでは岩手地区にユメはない！！</p>
<p>相川と周辺をきれいにしてほしい。</p>
<p>農地を売れるようにしてもらいたい。地区に食品、日用品が買えるお店がほしい。</p>
<p>コンビニ、デリバリー、コミュニティタクシー 携帯予約、デリバリーが届かないのは嫌だ。半兵衛せんべいとか お土産スポット屋台的な、もったいないきがするけど 交通→地域の人を募ってコミュニティタクシーの運行をする。自分の車、軽トラでも OK(荷物がある人)使いたいときにスマホで予約しようどいい人が向かう、感じてどうでしょう。城跡もっとわかりやすく見てわかる印(のぼりではわからない)ができないものか。</p>
<p>もっと道を広くして頂いて車やバスが通りやすくしてもらいたい。空地を買い取りせめて車 1 台が通れる道を付けていただきたい。まちづくりセンターの活用。住民以外もイベントに参加できるように。調理室をもっと自由に使えるように(岩手の人無料、他は有料等)。こういう場所を活用し若者が集まれるようマルシェやイベント企画をお願いしたい。</p>
<p>人々が集まる街づくり 明神湖周辺や春日への林道など、観光資源の整備、県道 257 号線 4 車線化に伴う「道の駅」など誘致。</p>
<p>消滅村落にならないように早めの対策。今でも岩手は垂井町で一番その位置に近い。いつも手を余している人も見えるのでうまく活用すれば何かできると思う(地区でも 10 人くらいいる感じです)基本的には空き家の整理と活用を考えたり高齢者の移動手伝いなど。</p>
<p>継続可能な森づくりをする、都会から人を呼んで協力してもらおう。若い人で山仕事を時々はしたいと思う人がいると思う。都会の小学校から田舎体験をしに来てもらう田んぼ(田植え稲刈り)畑(野菜の収穫種まき)山(森の木を使って工作する、自分で木を切って)等を体験してもらおう。</p>
<p>岩手は 20 年 30 年前より野生動物が多く夜になると人より動物との遭遇が怖いです。外灯が少ないこともあると思います。</p>
<p>自然の景観を守る(見続けたいいくためにも)よう、不要な木の伐採や河川の整備を希望します。小学校は残していただきたい。</p>
<p>県外に住む子供たち家族がこちらに帰ってきてても良いと言ってくれたが、田んぼが市街化調整区域のため家を建てることができなかった。近くに家もたっていていいかと思っていたが今は厳しくなり出来ないとのこと、又条件が難しくあきらめざるを得なかった。自分の土地なのに自由にできず子供たちをそばに置くこともできず無念です。外に出た者を呼び戻すことが大事だと思います。</p>

<p>岩手の谷に住んで40年たちます、雪が多くて鹿の被害がありますが緑が多く自然の風景でまあ気に入ってます。私も年で10年20年先まではわかりません。</p>
<p>私の居住地はどんどん世帯数が減っていき老人ばかりが残っている。空き家も増えてきている。若い人の魅力ある街というものをもっと聞くべきであり、このアンケートを書いている人はおそらく年配人であろうと思います。</p>
<p>市街化調整区域の撤廃。</p>
<p>農地に家を建ててはいけない時代ではない。このままでは人口が減ってしまうと思います。</p>
<p>何か特化した街づくりができると良い。</p>
<p>まず名古屋から大阪あるいは逆交通の要所ともいえる場所に位置する垂井町がなぜ人が少なくなっているのか？人流はあっても止まらない。止まったとしても広い駐車場で寝ているだけではまちの魅力は伝わらない。街の魅力の発信源ともいえる道の駅も池田町や藤橋村と比べるとあまりにも差がある状態。これで住宅を作ったところでほんとに入居してくれるのか、10年20年で立て直そうというのであれば工場は論外。店舗でもそれだけで集客が見込めるような有名な大型店でないと難しいのではないかと。堅実なところで、大きな駐車場に大きな道の駅、収益が出れば自然を生かしたキャンプ場・グランピング施設を増設などしてこの場所の魅力を伝えていけばよいのではと思います。</p>
<p>岩手地区の農地は市街化調整区域となっており発展を妨げていると感じています。外してほしい。農地については山から垂井に向かって高低差が大きく土手の草刈りに無駄な労力を使い効率が悪い、早く調整区域を解除し住宅を増やし垂井・大垣方面への交通の便を良くすれば静かなところで災害も少なく発展する街になると思います。稲作を隔年耕作している現状から農地を減らしても全体的に問題ないと思われます。</p>
<p>少子高齢化に対する不安とこれに対する行政の施策。</p>
<p>老人を大切に思い住むための手伝いを心がけてくれる人がいること。</p>
<p>安心して暮らせることが第一、災害に備えて食料の確保(自給体制、備蓄)、インフラの強化(発電の産地地消、雨水の貯水、耐震強化のための補助等)5反ルールが3反ルールに変わったとはいえ後継者のいない農地を転売するのは難しい、まちの人が日曜農家として畑作する程度の小規模な売買を市街化調整区域でも可能にできると良い。(大規模に集約できるような土地ばかりでなく、点在する地もある)地主が亡くなったり相続廃棄された田畑や家屋は行政側も対処策を考えていただきたい山間地区でも一人暮らしの人も少なくないので。</p>
<p>車がないと移動できない地区なので運転免許証を返納すると途端に行動範囲が制限されます。生きたいのある老後を送れるよう希望します。</p>
<p>岩手枝立神社もちまき廃止 理由、川原地区の人のみでもちまきの棚を設置・分解、高齢化で人がいなく若い人がくるとその人に任せられる、高所作業、重量棚の据付作業、地面に落ちた餅を食べる、他地区は餅だけ拾いに来る、町から言ってもらわないと、地区では廃止できません(高齢者意見が重視される)60~80代。</p>
<p>関ヶ原バイパスが4車線化され、車両交通が増加するとともにそれに伴った商業施設・工備等の誘致が必要かと思います。それらに伴って住宅等の需要も出てくるのではないのでしょうか。</p>
<p>長年岩手地区は市街化調整区域となりその間5年間待たねば家の建立が認められず隣の府中地区の分譲住宅を購入する人が多く垂井町内の他地区に建てる等、岩手地区から若い人の流出が多いように感じます。この制度の撤廃を強く希望します。垂井町を竹中半兵衛公でPRする地元の小学校が廃校になるようになれば地元を愛する者にとって忍びないです。空き家や農地を手放したい人も多いと聞きます。是非とも人口増加するための分譲住宅地確保など尽力していただきたいと思います。</p>
<p>公共交通の確保や買い物ができるお店の誘致にはぜひ積極的に取り組んでほしい。</p>

若者の働く場の確保(工場・店舗の誘致)が必要。伝統の祭り行事の見直し(簡素化・強制参加など)。
高齢者住宅が増加しており若者が住める街づくりが必要。子供の人数が増える施設も必要。
小学校は人数が減っても統合しないこと。少人数でも存続していただきたい。
文化財について学んでゆきたいと思います(87歳)。
働く場所の確保。
まちとか村は人の集合体である。少子高齢化が言われて久しく全国的に進展している中で岐阜県においても消滅集落すら点在する。人を集める施策は時すでに遅い。岩手は限界集落化している。
ホームセンター誘致してほしい。岩手地区に商店がほしい。
町を美しくする10年計画を立案し実行することが大切。日本一美しい街を作れば町の付加価値が高まり町は繁盛し人が集まり文化も高くなる。経済・文化先行でなく美観を先行すべき。町内に10年後の町の姿を示すべき。
10年後20年後に地域を担っていく人たちがこの地域に帰ってきたくなる教育が必要かと(親への思い、故郷の思い)それは小学校教育だけでなく中学以降も同様であり一貫した教育姿勢が大事でその見本になるのは今の大人(成人=18歳以上)だと思う。子供は大人を見て育つので子供たちを育てながら見本になる大人を作る機会がもっとあればいいと思います。
人口増としては、都市計画法7条(区域区分)について市街化調整区域の3市街化区域への変更が可能であればいいと思われませんが困難か?市街化区域へ変更しても固定資産税及び相続税評価額の大幅増加による相続負担が想定される。
安心して住み続けられる街づくりが基盤になります。財政配分もそれを踏まえて計画してほしいです。高齢者にとっては歩いて行ける場所に食料品店と金融機関は最低限です。子育て世代特に小学生以下、乳幼児を持つ方々には近くに学校や保育施設がそれにあたります。医療や緊急搬送は生命にかかわります総合病院、消防署の現状維持は最低限必要なことです。この地域は自然が魅力ですがその自然とは田・畑・自道林を含む森林です。それが豊かである代わりにはそれらを利用する第一次産業はこの地域の基幹事業として大切に保護されるべきです。以上が住み続けたい街のための基本構想です。「そのために出源も財政配分工夫する」ことが人口減少を止め、財政的にも豊かなまちづくりの肝ではないでしょうか?
岩手こども園や小学校はなくなってほしくない。なくなってもイベント等で活用できればいい。小学校を利用したカフェやお店、会社等企业を入れるなど。
市街化調整区域を再検討してもらいたい。
若い人が少ない、若い人が住み続けたいと思ってもらえる要素がない。川の雑草や竹が生えすぎ、たまに自分たちで草刈りなどしているが夏は特に手におえない。もっと近くにお店を出してほしい(車を出さなくても行ける場所に)自然も豊かで人も穏やかでいい場所とは思いますが近くに店等がありませんので不便・活気がない。これでは若い人が残ろうとは思わないし帰ってこようとは思わないのでは?
現状では田・畑を持っている人しか買えないし、自分の家族しか家が建てられない。今持っている山林・田・畑など調整区域になっているため自由に売買できず管理(年間人材)が大変です。古い体質、法律を変え新しい考えのもとに考えてほしい。土地、人ももっと自由に行き来出来る若い人の力や考えを考慮してもらい、自然豊かだし空気もきれいなのでごく良いところだと思います。例えばサイクリングコース、ゲームが流行っているのでゲームのイベントで皆が(若い人)集まるのでにぎやかになるのでは?場所があるのでいくらでも使ってもらっていいです。管理しなくて助かりますし。土地代を安くし若い人が家を建てたり貸したりできると遠方の人でも来やすくなるのでは?都会は土地代が高いから。自由に土地を売って家を建ててほしい(綾戸地区みたいに)若い人がいっぱい戻ってきている。

<p>村の行事(各自治会)が嫌で外へ出ていくものも増えている。なくすことはできないにしてももっと簡素化しては！？</p>
<p>自由に家や工場を建てられるような対策をすれば人口が増加する</p>
<p>防災・防犯等を重視してほしい。野良猫、サル、カラス等の駆除</p>
<p>市街化調整区域をなくした方がいい(至急)。理由、岩手地域の子供が減少していく、大切な歴史・文化が残っている岩手小学校・地域を大切に。商店が増えることによって地域が活性化。道路の四車線化に伴い道の駅の建設等が期待される。</p>
<p>住宅が自由に建てられないので人口が増えず子供の数も減る一方です。小学校もなくなってしまうのではと心配しています。</p>
<p>全国的に知名度を向上させる竹中半兵衛の観光復興を望む。岩手小学校が存続できるよう若夫婦が住むような(住みたくなる)施策が必要である。</p>
<p>応援しています、よろしくお願いします。</p>
<p>関ヶ原バイパスが拡張されるのはいいが学生や住民の通り道が危険にさらされるのは好ましくない(五明地区)4車線化の後長いスロープ状にし、立体交差にした方が安心だと思う。</p>
<p>農振を外し自由に宅地が建築できる地域に。一方、耕作放棄地の拡大は自然破壊が心配されるので農地を守っていく施策が必要。人口減少を食い止める対策が重要。</p>
<p>岩手地域においては農地森林の上手な活用が何より大事かと思えます。町内で一番岩手地域が遅れている地区民がそう思っていると思えます。今までも農地森林の活用を真剣に考え取り組んでこなかった、そんな気がします。その面のリーダーも不足していたのかなとも思えます。</p>
<p>山の立地条件を活かしハイキングコース、サイクリングコースを整備し町外の人たちを迎え入れ地域の人たちはガイド役やエイドステーションにかかわる。現状はまた来たくなる環境ではない。垂井町単独でなく隣接の関ヶ原町、池田町、揖斐川町とも足並みをそろえるべき。</p>
<p>町が先頭に立って行動しているのであればよいが自治会等に任せているだけでは今と変わらないと思う。世代交代とともに新しい考え方を定着できるようにしていかなければ次世代の人は定住しないと思う。事実、若い人は別の(岩手以外)垂井町内又は、大垣あたりまでは帰ってきてても岩手に住もうとしないのは昔ながらの煩わしい田舎付き合いが面倒なのではないのか！！(不便であることが)私たち世代(60代)ですら住み続けたいと思えないのに子(10代)に戻るようには言えないし、現状仕事等々の状態では無理である！！</p>
<p>岩手地域には広大な農地遊休地があります。工場誘致して住宅を建設し、関ヶ原 IC と直結する道路の建設。長期計画で県国へ呼びかけ、借金してでも遂行するべきです。</p>
<p>子どもを含む若者に地域の魅力を伝えたい。隣家との付き合い。</p>
<p>当町の昭和 30 年代後半から工場誘致にて製造企業の工場ができ、それに伴い全国地方から若い世代層が移住してきた。人口が急増し当時はあらゆる方面で飛躍躍進してきた。当方の地域もそれに該当する。その人たちが高齢になり又その子供たちも当町を離れたりして独居高齢者が多くなったり空き家が多くなった。当町は日本中央地区に地域する。その地域そのものの利便性を活かして PR し工場誘致(農地から工場企業へ)や居住数の増(空き家から中古住宅売却住居へ、資材高騰でこれからチャンス)で人口が増やすしかない。人口が増えれば商業店舗等もごく自然に増え、また公共交通手段も採算性が取れるようになりより使い勝手のいい手段が工夫できる。より生活しやすくなり相乗効果で人口も増えるだろう！！</p>
<p>今後の取り組み町づくりをよろしく！</p>
<p>市街化調整区域を外しスーパーなど設置してほしい、老後生活できない不安がある。</p>
<p>バイパスもあることだしもっと発展してほしい、過疎の村にしないほしい。</p>

可燃ごみの袋への名前記入を廃止してほしい。広報をネット配信のみにしてほしい(自治会の仕事を減らしてほしい)岩手小学校にも学童を設置してほしい。こども園のおむつの持ち帰りを廃止してほしい。岩手小学校とこども園の間の横断歩道で止まってくれない車が多い→交通ルール・マナーが悪い車が多いので取り締まり、パトロールをしてほしい。田んぼ道や住宅街を抜け道にする車が多く、スピードも速く危ない。
子どもたちの元気な声が響き渡る街であってほしいです。他の町からも子連れで遊びに来るような楽しい地域にしてほしいと思います。岩手地域にも朝倉公園のような大規模な公園やキャンプ場などを整備するというのはどうでしょうか？
バス利用について、駅から乗った場合、「ぐるぐる廻り気持ち悪くなる」、何かいい方法はないか。
もう間もなくいない人になります。94歳です。寂しいですね。
町づくりには人の力が必要です。情熱をもって町づくりに参加している方には頭が下がります。
住民サービスが不足している、役場の人はいつも何をしているか？もっと地域へ出て住民と会話してほしい
移住者を受け入れる体制づくりも大切であるが、まずは地域の子供たちが外に出ていかないようにすることが必要。小学生の子供を持つ若い親世代を中心とした街づくりを行うと良い。
宅地を増やし住宅ができれば若い人も入り活気ある街になると思う。
半兵衛の里が無くなって久しいが、再利用ができないものか！？朝市(野菜・食品・雑貨等)売りたい人に場所の提供ができればいい。
何かお店がほしい。
町内の役員など無理に押し付けることはやめてほしい。たとえ多数決でも！やりたい人にやってほしい。浄化槽を早く進めてほしい。仕事ができる(年寄りでも)場所を増やしてほしい。老後の資金が無くても生きていける場所があると良い。気軽に食事ができるところが近くに欲しい。子供たちが安心して安全に遊べる場所がほしい
小さな子供のいる世帯が移住したいと思える環境づくり。
若い人が住めるところを増やしてほしい。
夜の集会はやめる車の運転が怖い。イベントがあるために集会が増える。ベッタウンがいい。こども会、老人会、体育、青少年と団体が多すぎる。まち協行事のやりすぎ。
子どもや子育て世代の若者が定着する地域にしていくことが最も大切なことだと思います。今のところ垂井町ではその取り組みが全く感じられません。実施されているのかもしれませんが少なくとも私たち住民には感じられません。
特産品を生産して地区全体でアピールできるような農業会社のような組織を作って土地の荒廃化を防止してかつ、働けるような地域。池田町のようなお茶とかトマトとかラベンダーとか、活気がある。小規模でもきれいな建物で写真でも撮りたくなるような道の駅を作ってほしい。
働く場所の確保。農地の管理を行政又は公営化する。管理・運営を含む。このままでは農地を持つ人が町外に出ていくか、途絶えていく。
地域の発展より、持続可能な地域社会を望みます。高齢者や子供たちが現状より(生活サービスが)不便になることはないようお願いします。
若い方々が住みいい集落であってほしい。
人口が多くないと活気がない、垂井のほかの地区は新築住居がどんどん増えるが岩手はゼロ、自分の子はここには「かわいそう」と思うからどんどん若い人が流出する。岩手より田舎の方より移住を打診してはどうか。若い人はいろいろな行事に村ごと参加するのを嫌がるので自由にするべき。土地は多いので大きな工場を誘致すべき。草が生え管理に追われる毎日、年寄りの仕事とされ嫌になり出ていこうと考える。岩手地区は雪が多いので嫌われる、いち早く除雪し住民の負担を少なくしてほしい。

人口シミュレーションはしていますか？転出していく人の分析はしていますか？まちづくりの意味(あ りたい姿を明示してほしい)目的が分からないのでこのアンケートの内容が結びつかない。
垂井町へ住民として同じ税金を払っているのに上水道・下水道が整備されない。整備計画さえ示され ない。防災についても役場へ要求しても計画さえ示されない。町長・町職員の怠慢だ。
空き家がこれからも増えてくると思われ、対策をお願いします。
担当は小山さん、岩津さんとおっしゃいますか、まずはあなた方が岩手に住むことから始まると思 いますがいかがでしょうか。住んで初の？良いところや悪いところが見えてきます。それをもとに自分 で感じて仕事となります。アンケートのみで進めないでいただきたい。担当者が岩手に住んでから物 事を言っていたきたい。
空き家が多くなったり放置されて壊れた家があったりして住む人が減ってきている。また小学校や幼 稚園に通う子供が減ってきている。子育てや空き家等を活用して人口を増やす対策を立てていただ きたい。街づくりとは関係ないと思うがニュースを見ていて旧統一教会が多くの人を苦しめているの に心が痛む。間違っていることを治せないのなら日本そのものが危ない。岐阜県の政治家は大丈夫 でしょうか？
自治会内の役員の負担が多く高齢者には難しいため若年層に負担がかかっているので一考。若者が 集う(生活)まちづくり。
人口増加の対策。高齢者が安心できる街にしてください。「安心」とは奥が深いのでよく考えてくださ い。
地域内における環境が良くないのと地域づくりがうまくできない(地域内における問題が多い、清掃 活動等における関係)年齢とか年の差の考え方が違うのでうまく和つくりができない。
今現在生まれた場所に住民として昔の活気を失いつつある現状に不安を覚えます。人口も減り子 供たちの姿もほとんど見かけなくなった今、新たな価値観を見つけていかななくては、ただ不安ばかり 募ります。打開案難しいかもしれませんがこの生活と地域とのつながりが楽になるようになってい ったらと思います。
子どもたちが安心して遊べる公園や遊具がない。高齢化・過疎化していく中、町・地域の事業の見直し が必要だと思う。
核家族化により小児が少なくなっている、若い家族が住みやすい住宅・宅地増設・小児への補助の充 実など人口増につながる対応。
巡回バスの時間、朝もう少し早く、夕方遅く(特に夏場)。駅まで行く時間を短縮できないのか、巡回し ていなくてもいいところがあるのでは。
空き家及び空き地をなくし環境の良い街づくりにしたい。
今のままに続くことを望みます。
今の日本国憲法を改正しようと動きがありますが、まずは政治家のための改正でなく国民のため、地 域住民のための改正であることが一番大切であるので一部の上級階級の人間の利益のためでなく て、底辺の階級の人にまで痒い所に手が届くようなそんな社会になっていかないとこの国の発展は ないと思います。ぜひもっとどんな人にも希望の持てる社会づくりを望みます。
住民のいない家はなくしていく方向で。
地域住民の意見に寄り添った活動、治政が行えるコミュニティであり続けること。子育て世代の意見 を反映できるコミュニティであること。
北部には若いお母さんたちが子供を連れて遊ぶ公園がなく、エコドームにも公園はあるものの遊具が ほとんどなくすぐに子供が飽きてしまう。管理面等色々問題はありますがこのままでは若い人 たちには何の魅力もない街になってしまい、ますます子供を産みたいという気持ちが無くなってしま うと思います。だんだんと小学生の数も減り、一緒に遊ぶ友達すらなく、この先どうなっていくのが不 安しかありません。このアンケートに答える意味はありますか？毎回アンケートを書いても反映されて いる気がしません、アンケートを取るからには私たちが納得できるような結果を見せ下さい。

もっと若い世代が戻ってきたり、入ってきてくれて行事などにも参加してもらえるような人たちが増えてほしい。ただ自然環境が減ってしまうのは嫌だ。
ITなど新しい産業や幅広い産業の企業誘致、自営、経営で仕事ができる環境づくり支援。「仕事」が大事、工場ばかりでなくいろんな階層の人が住めるように。次が「子供を産み、育てやすい」町に。経済的支援や子育ての場、人材、公園などの遊び場の整備をする。最後に住民が意見を言う場、機会を増やす。各施設に意見箱を置く、SNSの窓口、ワークショップなどの定期開催。
限界集落にならないように願いたい。
空き家が増えその管理が全くできてなくて庭木も伸び放題でこちらが剪定する始末、ちゃんと最後まで責任を持つよう親族に働きかけてほしい。
巡回バスの利便性が悪い、乗客数も少なく時間がかかりすぎ、もっと利用しやすいように考えてほしい。
土地の有効活用。
農地が宅地に転換できる家が建てられると良いと思います。地盤が硬く地震に強い地域と思われるため。アピールの一つとしてはどうかと思います。小学校が存続できると良いと思います。
多様性を尊重する社会に変わらないと魅力ある地域にはならない。そのためには基本的人権の尊重という原則を地域を牛耳る年寄りたちが学習して自己変革することが肝要。
20年後を想定すると、まち全体で地区区割りの見直しが必須、やめる行事残す事業、行事の判断が必要。誰のための町づくりか、住む人が安心して生きがいを感じる街、人のために生きる生き方ができる街。
今住んでいるところで改築や新築したいという意思はあるが土地がない(売りに出されている土地がない)その多くは農地で住居用に変更できないとの噂である。古民家(空き家)ではなく、売地があれば買いたいという希望があってもかなえられず、仕方なく垂井の中央の方や大垣に出ていくことになり残念です。
地域活性化(人口増)が望ましい。
子どもたちが地域の人、自然を愛し、やさしい心を育むためこども園、小学校での教育が重要だと考えます。岩手地域の不便さはあるけれど住みやすい環境と人とのつながりを持てる地域でありたいと願っています。
巡回バスが土曜日でも運行してもらいたい。工場が少ないし、働く場所が少ないので働く場所を増やしてもらいたい。巡回バスの始発時間を朝8時30分にしてもらいたい。
時代の変化に伴って町も柔軟に変化していくことを望みます。垂井で生まれ育った子供が町に残りたいと思う街づくり EX)町を自慢したくなるようなお店、自然、特産品 町内を自由に行き来できる交通手段の拡充 農業を推進してための若手人口を増やす(移住推進)。
人口減少の時代、市街化調整区域の制度の必要性が全く感じられません。全廃して民間の投資を活用するのがいいと思います。
高齢で免許返納した人などの食料品・日用品の足がない。コミュニティバスあるが、店、病院に行くまでに時間がかかりすぎる、岩手方面には店がない。農業の魅力がない、やる人がいない、収入にならない60歳後200万/年の(農業で)の収入があれば農業やる人もいる。子供が減っている、このままでは大変なことになってしまう、過疎化、小学校なくなってしまう。子育ての家には税金や補助金を町が出して子供育てしやすい街にしてほしい。
自分の卒業した岩手小学校は残ってほしい(問9で○の制限があったので○をつけていないが)。
10年20年後には大石地区は空き家が多くなると思われます。我が家もその中の一軒になると思われます。その後の家の管理や庭の管理の事を思うと心配です。迷惑が掛からないような方法があると良いですね。
調整区域を解除し人口増加を図らなければこの地域は間違いなく衰退していく。

<p>過疎化を防ぐにはインフラの整備等をし、居住者が増え、コミュニティが盛んになることが条件だと思う。このままだと過疎化が進み、ますます魅力ある地域に遠くなると思われる。</p>
<p>若い人が住み続けられるような街にしてほしい。働く場所の確保、新しい家が建てられるか(許可が出ないとの話を聞きます)。</p>
<p>将来的に地域の小学校がなくなるようなことがないように市街化調整区域の課題の緩和に取り組んでほしい。</p>
<p>老人の「うつ」「放浪」などをなくすため、お茶飲み、ラジオ体操、散歩、WALKING、おしゃべりの建設するための建物を希望する。</p>
<p>岩手地区は市街化調整区域のため自由に住宅等が新築できず市街化調整区域から外すべきである。(10年後20年後は空き家また高齢者及び単独世帯が増加する傾向である)。</p>
<p>少子高齢化により地区の活動が難しくなると思われます。消防団員の募集人数を減らせないのか。空き家の有効活用。岩手にはアパートがないので案件探し。以前ホームセンター「カインズ」出店の話があったのでまた、誘致はないか。独居老人の訪問、声掛け。コミュニティバスの無料回数券配布(利用者を増やす)。古民家のリフォーム→住民の集まる場所(コミュニティ)づくり(地区センター的なもの、そこで子供たちの学習できる場所の提供)、古民家カフェ(年寄りの楽しめる仕事になる)。</p>
<p>問5にて、新たに用地を確保して住宅・工場・店舗を作ることが地域の発展だと思いますが「市街化調整区域」ではそれができない、これこそが最大の問題だと思います。岩手地区には発展がないあるわけない。←市街化調整区域を廃止しない限り。</p>
<p>現在関ヶ原バイパス道路の4車線工事が始まっていますが私たちにとっては全然ありがたくありません。これ以上開発されなくてもいいのです。地域にとっては北と南が道路によって往来が不便になり今でも畑の草刈りに石が飛ばないか気を付けて作業しているが5年先には誰もいかなくなると思う。荒地にならないか心配だが先のことは何ともならない。バイパス道路沿いの畑が荒地にならないために、県が買い取り道路樹(高木、ばっさい)を植林し、自動車専用道路を作り、安全かつ自然を感じる道路になると素晴らしい。景観がいいと人も集まり町の名も広まる。</p>
<p>①新社会人が高学歴化する今日、将来であるが、自宅からの通勤圏内にて働く場所があるような施策。②地域外(他都市)に出た人が、戻ってきたくなる環境づくり(ソフト・ハード)。</p>
<p>地域行事の効率化、集約化。</p>

垂井町 市街化調整区域におけるまちづくり アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、町行政に格別のご理解、ご協力いただきありがとうございます。

人口減少社会が到来し、とくに市街化調整区域が多くを占める岩手地域では人口減少と高齢化が進み、地域コミュニティの維持が課題となっています。

町といたしましては、これらの地域の課題解決に向けて、地域の皆様と一緒に持って持続可能なまちづくりの取り組みを進めていきたいと考えています。

今回の岩手地域の全世帯を対象にしたアンケート調査は、地域の実情を把握するとともに、地域の皆様の考え方をお聞きし、今後のまちづくりに生かしていくための基礎資料とするため行うものです。

今後、このアンケート調査結果をもとにして、地域の皆様とのワークショップや勉強会などを実施し、課題の共有、意識の醸成を図っていききたいと考えています。

本アンケート調査ならびに今後の取り組みにつきまして、地域の将来のため、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年7月 垂井町長 早野 博文

《回答にあたってのご注意》

- ① 回答は、世帯主の方が基本にご記入ください。なお、設問によっては、家族の方のご意見を把握する設問も含まれております。その場合は、みなさんと相談していただきながら、回答いただけると幸いです。
- ② 記入用具は、鉛筆・ボールペンなどをご使用ください。
- ③ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ④ 回答後は、送付時の封筒にアンケート調査票を入れ両面テープで封をし、8月17日（水）までに各班長さんにお渡しください。
- ⑤ このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

垂井町 都市計画課 都市計画政策係 担当者：小山 岩津

〒503-2193 岐阜県不破郡垂井町宮代 2957-11

(電話) 0584-22-7521 (FAX) 0584-22-5180

垂井町 市街化調整区域におけるまちづくり アンケート調査票（岩手地域）

あなたご自身について

問1 ご自身のことについてお尋ねします。【それぞれ1つに○、または数字を記入】

①あなたの性別と年齢を、それぞれお答えください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	
年代	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

②あなたのお住まいの自治会をお教えください。（任意項目です。）

1. 菩提田町	2. 川原	3. 長畑	4. 南長畑	5. 五明	6. 下町
7. 漆原	8. 南漆原	9. 宮之前	10. 谷	11. 伊吹	12. 大石

③あなたの職業についてお答えください。

1. 会社員・公務員・団体職員	2. 農林業	3. 自営業（農林業以外）
4. パート・アルバイト	5. 家事従業者（専業主婦（夫）など）	
6. 学生	7. 無職	
8. その他（ ）		

④あなたの世帯構成とその人数についてお答えください。

構成	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 2世代が同居（親と子）
	4. 3世代が同居（親と子と孫）	5. その他（ ）	
人員	上記3～5と回答の方、現在同居する人数（ ）人		

⑤あなたのお住まいについてお教えください。

1. 持ち家	2. 賃貸住宅	3. その他（ ）
--------	---------	-----------

この地域における定住意向について

問2-1 今後のお住まいの意向についてどうお考えですか。【1つに○】

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 町内で転居したい | 3. 町外に転出したい |
| 4. わからない | | |

問2-2 上記で「1～3」を回答した方はその理由をお答えください。【いくつでも○】

「1. 住み続けたい」を選んだ方

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 1. 愛着があるから | 2. 通勤・通学しやすいから | 3. 自然が豊かだから |
| 4. 親と同居のため | 5. 生まれたところだから | 6. 家を継ぐため |
| 7. 特に理由はない | 8. その他 () | |

「2. 町内で転居したい」「3. 町外に転出したい」を選んだ方

- | | | |
|------------|----------------------|--------------|
| 1. 愛着がないから | 2. 通勤・通学が不便だから | 3. 買い物に不便だから |
| 4. 独立したいから | 5. 地域でのつきあいがわずらわしいから | |
| 6. 特に理由はない | 7. その他 () | |

問3 あなたの家族の定住意向について教えてください。【該当する項目に○】

①同居の家族がいる場合

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 地域内に残りたい | 2. 地域外に転出したい | 3. わからない |
|-------------|--------------|----------|

②非同居の家族がいる場合（例：大学で下宿、県外の企業に就職など）

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 地域内に戻りたい | 2. 地域内に戻りたくない | 3. わからない |
|-------------|---------------|----------|

現在のお住まいの状況などについて

問4 あなたが生活する上での問題点はどんなことですか。【3つまで○】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 人が減りコミュニティの維持が不安 | 2. 人が減り地域に活気が感じられない |
| 3. 買い物や飲食の店が少ない | 4. 空き家の管理ができていない |
| 5. 災害が増え防災面で不安がある | 6. 移動が不便である（バスの便数少ない） |
| 7. 新しい家が建てられない | 8. 近くに働く場が少ない |
| 9. 通勤・通学が不便である（遠い） | 10. 小学校の児童数が減っている |
| 11. 子育てしづらい環境である | 12. 高齢者の単独世帯が増加している |
| 13. 担い手・後継者不足 | 14. 地域活動への参加が減ってきている |
| 15. 地域活動がわずらわしい | 16. 地域の歴史・文化に関心が薄い |
| 17. 地域への愛着や誇りが薄い | 18. 特に問題は感じない |
| 19. その他 () | |

問5 あなたの地域で、新たに用地を確保して住宅地や主要道路沿道で工場や店舗をつくることについて、どのようにお考えですか。【1つに〇】

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. よいと思う | 2. あまり望ましくない | 3. わからない |
|----------|--------------|----------|

問6-1 あなたは地域内に、現在お住まいの住宅地以外の土地（宅地や農地など）をお持ちですか。【いくつでも〇】

- | | | |
|----------------|-------|-----------|
| 1. 宅地（空き家や空き地） | 2. 農地 | 3. 持っていない |
|----------------|-------|-----------|

問6-2 上記で1, 2を選んだ方は、今後の意向について教えてください。

「1. 宅地（空き家や空き地）」を選んだ方

1. 手放したい	2. 手放したくない
----------	------------

「2. 農地」を選んだ方

1. 手放したい	2. 手放したくない
----------	------------

問7 地域内に転入したい人がいる場合、どのような条件を満たせばよいと考えますか。【いくつでも〇】

- | | |
|--|---------------|
| 1. 地域内の人の親族 | 2. 地域に魅力を感じる人 |
| 3. 週末のみの第2の住宅（セカンドハウス、二地域居住）として住む人でもよい | |
| 4. 地域の活動・行事に参加してくれる人 | 5. 特に条件は必要ない |
| 6. 積極的に受け入れたくない | 7. その他（ ） |

現在及び今後の地域のまちづくりに向けて

問8 今後とも地域が住み続けたいまちであるために、どのようなことを重視していくのが望ましいと思いますか。【3つまで〇】

- | |
|---------------------------------------|
| 1. マルシェなどのイベント開催や交流の場づくり |
| 2. 身近で買い物ができるお店の誘致 |
| 3. 安全・安心に暮らせる環境づくり（防犯・防災対策） |
| 4. 公共交通の確保（移動の利便性の確保） |
| 5. コミュニティ維持のための居住者の受け入れ（空き家・農地活用） |
| 6. 働く場の確保（工場・店舗等の誘致） |
| 7. 地域による高齢者の見守りや子育て支援 |
| 8. 地域の特性をいかした特色ある学校教育・学習環境 |
| 9. 農業や林業振興による地域の活力維持（人材確保や産品販促、加工品開発） |
| 10. 活発な地域活動（草刈り、清掃活動など） |
| 11. 歴史・文化を活かした観光の取組（催事、機会・場づくり） |
| 12. 地域学習（地域の愛着や誇りを育むための取組） |
| 13. その他（ ） |

問9 今後、あなたの地域の魅力や誇り、愛着を育み伝えるものとして特に大事にしたいものは何ですか。 【3つまで○】

- | | | |
|---------------|---------------------|----------------|
| 1. 歴史・文化 | 2. 伝統の祭り・行事 | 3. 交流等のイベント |
| 4. 小学校 | 5. 地域の人・人材 | 6. 山や川・生物などの自然 |
| 7. 集落の風景・雰囲気 | 8. 農地や山の風景・景観 | 9. 農業や林業とその産物 |
| 10. 地域内の様々な活動 | 11. 特定の建物等（店・社寺・住宅） | |
| 12. その他（ | | ） |

問10 今後、あなたの地域を住み続けたいまちにしていくための活動について、参加してみたいと思いますか。 【1つに○】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 時間と機会があれば参加したい |
| 3. 一緒に参加する人がいれば参加したい | 4. 興味・関心ある事であれば参加したい |
| 5. 参加するつもりはない | |

問11 このアンケートを回答されるにあたり、ご家族の方と相談してみたいの感想をお聞かせください。 【1つに○】

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 皆の意見が反映できた | 2. おおよそは反映できた |
| 3. 意見が上手くまとまらなかった | 4. 相談できなかった |
| 5. 相談する相手がいない（一人暮らし等） | |

まちづくりについてのご意見など

問12 その他、地域の10年後、20年後の将来のまちについて望むことなど、まちづくりについてのご意見・ご提案などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、各班長にお渡してください。